

支出項目 政務活動費 広報費①

No.1

6 年度 月 日		内容	支出額 (円)	累計額 (円)
8	27	市政報告「ちがさきレポート」No. 14号 印刷代 (杉本議員)	46,618	46,618
2	7	市政報告「ちがさきレポート」No. 14号、No. 15号 レイアウト代 (杉本議員)	40,000	86,618
2	17	市政報告「ちがさきレポート」No. 15号 印刷代 (杉本議員)	393,910	480,528
		広報費合計	480,528	

領収書

領収書番号 00000953566

財政ちがき
杉本啓子様

お支払金額	¥46,618 (税込)
内訳	¥41,951 (本体価格)
	¥4,667 (消費税額)
但し	印刷代として (クレジットカードにて決済)
出荷日	2024-08-27
発行日	2025/03/28

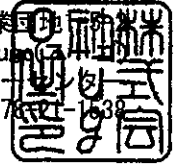
ちがきレポート No. 14
6,000枚

〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地

株式会社unio

カスタマーセンター

TEL 0502-018-1785 FAX 0173-421-1538





杉本けいこ ちがさきレポート

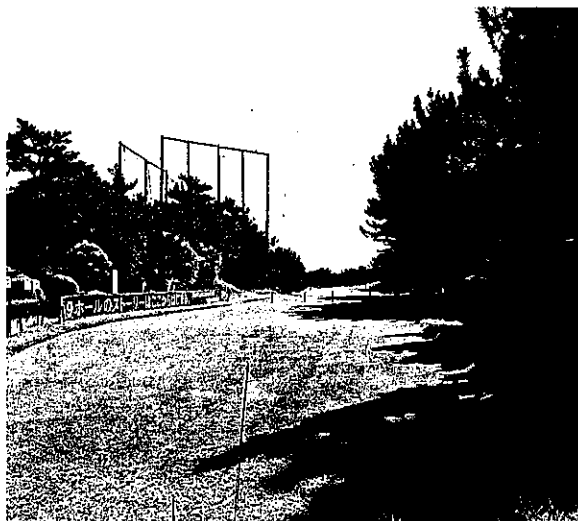
特集 茅ヶ崎ゴルフ場西側の利活用について

「茅ヶ崎ゴルフ場区域のまちづくりの考え方」について、市と住民の意見交換会は4月26日～6月29日まで6回行われました。周知不足で参加者は少なく、住民から出た意見から都合のいい部分だけ採用したような「茅ヶ崎ゴルフ場区域の利活用に関する考え方」という案がすでにまとめられています。（この案で、8月23日～10月4日までパブリックコメントが募集されます。）

「用途地域変更などはやめてほしい」という住民意見は無視され、建築物を建てるための変更ありきの意見交換会で、具体的なプランは事業者の提案しだい。住民は「意見を聞いた」というアリバイ作りに使われた感があります。

【方向性】

- ① 広域避難場所確保のため、ゴルフ場は継続する
 - ・ 事業者が参入しやすいよう30年間の賃貸借契約、ゴルフ場と西側は、一括して契約する方向
- ② クラブハウスを含む西側区域の土地利用規制の緩和をする
 - ・ 建物の高さ 10m以下
 - ・ 建蔽率 50% 容積率 100%
 - ・ 最低敷地面積を2,000㎡として、建物の密集を防ぐ。しかし、戸数制限はない。



★「用途地域を変えないでほしい」は最初から無視 !!

「第一種低層住居専用地域は変えないで欲しい」

「規制の緩和はしないで欲しい」

「現状の緑地や空間、景観を維持したものに限定して許可して欲しい。」

という住民意見は、最初から無視されています。

「変更しないでくださいになった場合、県に通るのか？」

「なぜ最初から用途地域変更ありき、何の建物が必要ですか？ なのか」

「変更しますという約束を市がしたのか？」

「なぜ、県は説明に来ないのか。市民の意見が直接伝わるよう、土地所有者の県は意見交換会に出席して欲しい」

2025年02月07日

領収書

一連No000037
領収No019494

財政 ちがさき

様

¥40,000-

税抜金額

¥36,364-

印

(但しちがさきレポート ~~ストリートファクトリー~~ 消費税等
登録番号:T6810797179107 正に領収致しました) (税込) ¥3,636-

収入印紙

Street○Factory

ストリートファクトリー

茅ヶ崎市東海岸北5-15-25

電話:0467-81-5594

FAX:0467-81-5593

印刷面を内側に折って保管願います

領収書

領収書番号 00000975644

財政ちがさき 杉本啓子様

お支払金額	¥393,910 (税込)
内訳	¥358,100 (本体価格)
	¥35,810 (消費税額)
但し	印刷代として (三井住友銀行にて決済)
出荷日	2025-02-17
発行日	2025/03/28

ちがさきレポート No. 15
25,000冊

〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地

株式会社 

カスタマーセンター

TEL 0502-018-1785 FAX 0178-21-1538

杉本けいこ ちがさきレポート



特集 知ってビックリ! 茅ヶ崎防災

2026年度の防災庁の発足をめざして、国の災害対応が「専門性を高めて事前防災を強化」するセカンドステージに進む形になっています。茅ヶ崎市はこの流れに乗れるのでしょうか？市の現状をまとめて見ました。

まず、茅ヶ崎市の備蓄状況を見てみましょう。（一般質問の回答などからまとめています。）

■ 飲料水について

Q : 市内のペットボトルの備蓄量は、どれぐらいで、何日間もつ想定ですか？

市の回答 : ペットボトル飲料水の備蓄は、2ℓと500ml合わせて約8,000本で、量としては約13,000ℓです。

（基準とする避難者数は、茅ヶ崎市に最も大きな被害が想定される「都心南部地震」に基づく。県の被害想定では、発災1日目から3日目までの避難所と避難所外の避難者数が4,870人、1日目のみ帰宅困難者数6,390人。）

Q : そうすると、ペットボトルの水は、避難者一人1ℓ配付したとすると、1、2日しかもたないのでは？

ペットボトル以外にはどうやって飲料水を確保するのですか？

市の回答 : ペットボトル以外の飲料水としては、100立方メートルの容量がある飲料水兼用貯水槽、小・中学校の受水槽や耐震性プール、県が管理する配水池からの給水、協定による調達等を想定しています。

・飲料水兼用貯水槽・

水道管からの飲料水を利用するもので、第一カッターきいろ公園（中央公園）、東小和田公園、茅ヶ崎公園野球場、浜之郷公園、しろやま公園、浜須賀中、萩園中、西浜中、緑が浜小の市内9か所に設置しています。

一人1日3リットルを3日間使用とした場合、1基につき1万1,000人分、9基で約9万9,000人分の想定となります。

